

東佐井寺留守家庭児童育成室運營業務委託事業者評価シート（令和3年度）

1 育成室の概要

(1) 児童数・教室数

児童数 102 人（うち配慮を要する児童 3 人）					教室数	
内訳	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	3 教室
	38 人	36 人	20 人	8 人	0 人	

(2) 受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和3年4月～令和6年3月）

他に受託している育成室（佐井寺育成室、山手育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	2
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「遊びの取組みについて」の設問で、年度末に実施した3回目の結果では、「満足」と「少し満足」の回答の合計が、約89%と高い割合であり、1回目（8月実施）の結果から約9ポイント増加している。一方で「お子様にとって育成室はどの程度楽しい場所でしたか」との設問では、3回目の結果で約78%であり、1回目の結果から約2ポイント減少していることから、児童が楽しめる環境づくりが求められている。
- ③学校の夏休み期間等のレトルトデイは、保護者のお弁当作りの負担軽減となり好評を得ている。また、アプリを利用した電子媒体での連絡が行えるようになり、保護者連携に役立っている。
- ④指導員の入替りについては、個人的な事情等があるため一定の理解は示すが、児童や保護者との信頼関係の構築には継続的な雇用が望ましいため、今後もより一層事業者としての努力が求められる。